

JR 東日本カップ 2018 第 92 回関東大学サッカーリーグ戦

if OFFICIAL MATCHDAY PROGRAM
Division2 No.4 (第 6 節)
発行:(一財)関東大学サッカー連盟

得点ランキング

7点	関岡亮太(立正大学)
5点	渡邊龍(日本体育大学)
4点	大橋祐紀(中央大学)
4点	石塚龍成(関東学院大学)
3点	桜井昂(中央大学)
3点	井上瑠寧(立教大学)
3点	鈴木順也(立正大学)
3点	堀越大蔵(東海大学)
以下 2 得点 14 名	

アシストランキング

4アシスト	雪江悠人(立正大学)
3アシスト	加藤陸次樹(中央大学)
以下 2 アシスト 12 名	

前節(第 5 節)の結果

中央大学	2-1	神奈川大学
日本体育大学	3-0	東海大学
拓殖大学	1-3	立教大学
慶應義塾大学	2-2	関東学院大学
東京学芸大学	3-4	立正大学
東京農業大学	0-1	青山学院大学

JR東日本カップ2018 第92回関東大学サッカーリーグ戦 2部

チーム名	中大	立教	立正	日体	青学	東海	関学	東農	慶大	拓大	神大	東学	勝点	試合数	勝数	敗数	総得点	得失点差	順位		
中央大学			2○1	3○1				3○0		2○1	2○0	15	5	5	0	0	12	3	9	1	
立教大学			1○0			1○0	2○1	4○1		3○1		15	5	5	0	0	11	3	8	2	
立正大学		0●1		2○1				4○1		4○1	4○3	12	5	4	0	1	14	7	7	3	
日本体育大学	1●2		1●2			3○0	2○1			3○2		9	5	3	0	2	10	7	3	4	
青山学院大学	1●3							1○0	1●3		3○2	1○0	9	5	3	0	2	7	8	-1	5
東海大学		0●1		0●3				2○1	3○1	1△1		7	5	2	1	2	6	7	-1	6	
関東学院大学		1●2		1●2				2△2	0△0		6○0	5	5	1	2	2	10	6	4	7	
東京農業大学		1●4			0●1	1●2			1△1	2○1		4	5	1	1	3	5	9	-4	8	
慶應義塾大学	0●3		1●4		3○1	1●3	2△2					4	5	1	1	3	7	13	-6	9	
拓殖大学		1●3		2●3		1△1	0△0	1△1				3	5	0	3	2	5	8	-3	10	
神奈川大学	1●2		1●4		2●3			1●2			1△1	1	5	0	1	4	6	12	-6	11	
東京学芸大学	0●2		3●4		0●1		0●6				1△1	1	5	0	1	4	4	14	-10	12	

関東大学サッカーリーグ戦の情報は (一財) 関東大学サッカー連盟公式サイトへ!

www.jufa-kanto.jp

サッカー部はジールで決める!

体育会系学生就職支援企業

Zeal Athlete Agency



PICK UP MATCH

文・山川南帆

神奈川大学 対 東海大学

『JR 東日本カップ 2018 第 92 回関東大学サッカーリーグ戦』は第 6 節を迎える。

いまだ勝利を掴めない神奈川大学。前節では中央大学相手に先制するも、前半のうちに追いつかれ、後半は 1 本もシュートを打たせてもらえずに逆転負けを喫した。しかし関森悟監督は、この敗戦をポジティブに捉える。「勝点は積み重ねていないが、1 試合ごとにチームは成長している」と手応えを感じている様子。特に先制点は「チームとしてずっと積み重ねてきた」セットプレーから生まれた得点だっただけに、大きな収穫だ。しかし失点シーンに関しては厳しい評価。選手同士が譲り合う、いわゆるお見合いをしてしまったことを原因に挙げ、「あそこですっかり跳ね返していれば」と悔やんだ。東海大学は「同じ神奈川県内でずっとしのぎを削ってきたチーム」だからこそ「先制点、追加点、そして無失点。あとは 4 年生がしっかりとチームのために戦えるか」を重要視していた。攻撃では前節得点を挙げた MF 櫻井敬正(3 年)を軸に、守備陣との連携強化で東海大の勢いを止めたいところだ。

対する東海大も前節、日本体育大学に 0-3 と

完敗を喫した。PK から 1 点を、カウンターからさらに 2 点目を奪われた。後藤太郎監督は、シュート数では上回りながらも少ないチャンスをものにされた試合を振り返り、「見ての通り完敗」と肩を落とした。失点に対しては、「1 点目の PK は必要なかった」とバツサリ。2 点目以降は「攻めなければならなかったから仕方がない」としたが「深く考えず前に行き過ぎた」との反省を口にした。次節では、東海大の長所であるパワーあふれるプレーをコントロールしていけるかがポイントになる。神大を「テクニックで繋ぎ、フィジカルも強い、とても良いチーム」と褒め称える後藤監督だが、「東海大のいつものやり方、パワーでやる」と意気込んだ。

同県内で互いに高めあってきた両チーム。大学サッカーの神奈川ダービーは、どちらも集中応援日だ。勝てば前期の残り試合に追い風となる、この一戦を制するのは果たしてどちらか。

出場停止：小林陸政(東海大)

警告 3 回：なし

前年度対戦成績：前期/神大 0-0 東海大
後期/神大 1-1 東海大

PICK UP MATCH

文・菅野涼

日本体育大学 対 東京農業大学

ゴールデンウィークの連戦が終わり、2 週間のブレイクを挟んで迎える『JR 東日本カップ 2018 第 92 回関東大学サッカーリーグ戦』第 6 節。1 部昇格を目指すチームにとっては、前期リーグの折り返し地点となるこの中盤戦を制するかが上位進出の鍵となる。

2 連敗と調子を落としていた日本体育大学は前節の東海大学戦で快勝し、連敗を脱することに成功。3 得点に併せて失点を 0 に抑えての勝利と、完璧な試合内容で連戦を締めくくった。矢野晴之介監督は「選手たちがよく耐えた試合だった。その中でも少ないチャンスをものにできた」ことが勝因だったと謙虚に語った。スターティングメンバーの半分を、昨年まで出場機会のなかった選手で占めることも珍しくない今季の日体大。選手自らがピッチの上で自信を得て、急成長を遂げている。誰が出場しても日体大のスタイルを体現できる層の厚いチームに仕上がりがつつあるが、現在の順位は 4 位。まだまだ伸びしろは十分だ。矢野監督は今節の東京農業大学戦についても、「当然勝利を取りに行く。内容と結果を結

び付けられるようにしたい」と意気込む。

一方の東農大は開幕からいまひとつ調子の波に乗れずにいる。前節の青山学院大学戦では惜敗し、3 連戦を 1 勝 2 敗と負け越す結果に。仕切り直しの一戦となる今節は、連敗だけは避けなければならない。対戦相手の日体大について三浦佑介監督は「去年 1 部リーグにいた素晴らしいチーム」と印象を語り、「チャレンジャー精神を忘れずにハードワークしたい。気持ちの部分ですっかりと 90 分間戦い、全力で倒しにいく」とコメントした。課題とされていた、MF 牧寛史(4 年)、FW 影森宇京(3 年)らを中心に構成する攻撃陣も、形はできつつある。集中応援となる今節は、より以上に気持ちが高まることは間違いない。声援を力に変え、勝点 3 を掴み取れるか。

今節の注目の一戦、日体大と東農大の試合は、県立保土ヶ谷公園サッカー場で行われる。

出場停止：なし

警告 3 回：なし

前年度対戦成績：なし